

アトリウム展示「周期表グッズ」の製作について

小野 昌弘 *

概要

2010年9月17日より平成23年4月24日まで、当館地下1階のアトリウム展示ケースにおいて、周期表に関するグッズを集めた企画展示を製作した。ここでは、その内容について報告する。

1. はじめに

周期表は、メンデレーエフが1969年に発表した。その後、さまざまな研究者により、少しずつ改良されて現在学校の教科書のみならず、文具や身近なグッズにもプリントされている。必ずしも化学的な意味合いを理解してもらうためというよりも、そのマス目にいろいろな記号が並び、デザイン的に興味関心を惹かれる、という形で利用が多いと思われる。そこで今回、巷間にあるさまざまな周期表に関するグッズを集め、紹介する展示を製作した(写真1)。

展示したものは、化学を学ぶ上で基礎的な情報を提示している元素周期表が、日常生活の一部に溶け込んでもおかしくないようにしたものが多く、来館した方々には購買意欲も湧かれた方もいて、一部については、急遽売店で販売するなどの出来事もあった。



写真1. 周期表グッズ展示

2. 設置物

以下に設置した周期表グッズの一覧を示す。

グッズ名	内容
①クリアファイル(写真2)	4種類、販促物や、一般商品
②エレメンタッチ	京都大学前野教授開発の周期表グッズ。ペン立てにもなる。
③ネクタイ	
④マグカップ	
⑤マグカップ	100円ショップダイソーで販売していたもの。色分けで金属・非金属を区別
⑥うちわ	(株)化学同人の販促物
⑦Tシャツ	(株)化学同人制作のもの
⑧タンブラー	日本化学会が新規入会会員に配ったもの
⑨世界一美しい周期表 3D(写真4)	周期表の元素に対応する実物の写真を立体的に見えるようにしたもの
⑩一家に一枚周期表	2005年以降文科省から発行されている周期表
⑪周期表ゆかいな元素たち	図書と下敷きのセット
⑫ハングル語周期表	韓国の百科図鑑
⑬完全図解周期表	ニュートンムック(図書)
⑭元素がわかる	小野の著書

以上が、展示した資料類である。展示に関しては、周期表とメンデレーエフに関する解説も掲示し、単なるグッズ紹介という形の展示にならないように配慮した。

*大阪市立科学館
ono@sci-museum.jp

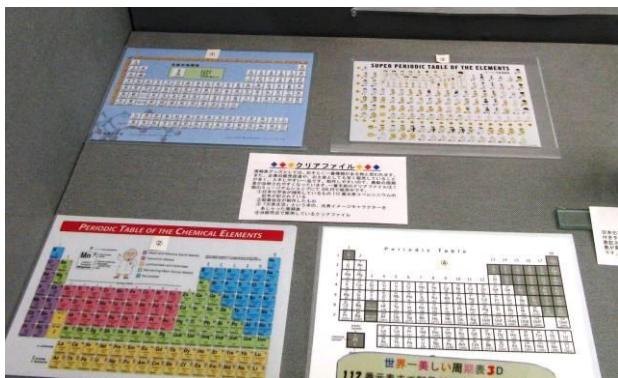


写真2. 周期表クリアファイル各種

周期表については、私達は、高校の化学の授業で接し、そこで、その意味や元素の並んでいる順番どおりにいくつかの記号を覚えさせられる。

そのため心象的には良いイメージを持たない人もいますが、このようなさまざまなグッズにすることで、周期表というよりも、そのグッズのデザインとして周期表が受け入れられるようになり、改めて化学へ接する機会となりえる。個人的には、このようなグッズがたくさん作られ、周期表に触れる人々が多くなることはとても歓迎できることだと思っている。化学への取っ掛かりの一つとして、非常に有効な可能性を持つ周期表グッズについて、今後も新しいグッズが登場することを期待すると同時に、自らも何か作りたいと考案中である。

3. 謝辞

本展示を制作するに当たり、原案を提示していただき、展示資料としてエレメントタッチを提供していただいた、当館の石坂学芸員と、韓国語の周期表が掲載されている図鑑を提供していただいた、科学館大好きクラブの石崎祐美子氏にこの紙面を借りてお礼申し上げます。



写真3. 左上より、タンブラー、うちわ、⑤マグカップ、ネクタイ、④マグカップ、エレメントタッチ



写真4. 世界一美しい周期表3D



写真5. 周期表に関する書籍類